

広報⑤(フリーペーパー)

フリーペーパー

表紙

中面

▶「とっとりGoToEatガイドブック」
(新聞折り込み／ポスティングフリーペーパー)



12月1日発行。加盟飲食店全1176店(発行時店数)の店名のほか、住所・電話番号や営業時間、ジャンル、「お店の一言コメント」を掲載しました。また「テイクアウト」「おせち料理」など対応できるサービスも記載しました。

▶「うさぎの耳」(新聞折り込みフリーペーパー)▶



▶「春の観光マップ」
(高速道路SA設置フリーペーパー)



■フリーペーパー広告掲載実績

発行日	掲載媒体	サイズ	発行方法
2020/11/12	うさぎの耳 (東・西部版)	1頁	新聞折り込み
2020/11/26	うさぎの耳 (東・西部版)	全4段	新聞折り込み
2020/12/1	とっとりGoToEatガイド	16頁	新聞折り込み&ポスティング
2020/12/10	うさぎの耳 (東・西部版)	1頁	新聞折り込み
2020/12/24	うさぎの耳 (東部版)	全4段	新聞折り込み
2021/1/28	うさぎの耳 (東・西部版)	1頁	新聞折り込み
2021/2/11	うさぎの耳 (東・西部版)	1頁	新聞折り込み
2021/4/8	うさぎの耳 (東部版)	1頁	新聞折り込み
2021/4/16	春の観光マップ (鳥取・但馬)	1頁	高速道路SA設置配布
2021/4/16	春の観光マップ (鳥取・島根)	1頁	高速道路SA設置配布
2021/4/22	うさぎの耳 (東・西部版)	1頁	新聞折り込み
2021/4/28	スクスクめいと	1頁	保育園・幼稚園配布
2021/6/24	うさぎの耳 (東・西部版)	1頁	新聞折り込み

は鳥取県費用で掲載

▶「スクスクめいと」
(保育園・幼稚園配布フリーペーパー)



●実績確認監査等事業者への報告は、以下仕様書に記載の内容に従って行いました。

- ①キャンペーン期間中、食事券販売・使用の実績を、毎月、別途定める様式により、実績確認監査等事業者へ報告いたします。様式、期日及び方法は、委託者と実績確認監査等事業者が、協議して定め、食事券の販売、使用、執行状況をCSVファイルで報告可能とするなど、効率的な方法にて対応いたします。
- ②キャンペーン期間中、飲食店への代金振込の実績を取りまとめた書類と、それらの根拠となる証拠書類を、毎月、別途定める様式により、実績確認監査等事業者へ報告いたします。様式、期日及び方法は、委託者と実績確認監査等事業者が、協議して定め、CSVファイルで報告可能とするなど、効率的な方法にて対応いたします。
- ③キャンペーン期間終了後、食事券販売、使用の実績と、飲食店への代金振込の実績、その根拠となる証拠書類を、別途定める様式により、実績確認監査等事業者へ報告し、承認を得ます。様式、期日及び方法は、委託者と実績確認監査等事業者が、協議して定めるものとします。
- ④毎月の報告やキャンペーン終了後の報告が円滑に行われるよう、事業開始に当たり、事前テスト報告に協力するものとし、実績確認監査等事業者の指定する方法により、ダミーデータの提出などを行います。また、提出データの正確性に責任を負うものとし、実績報告や証拠資料のデータ提出に当たっては、複数の者によるダブルチェックを行います。複数の者によるダブルチェックでは、データの読み手と聞き手を変えて、異なる者の組合せで、複数回確認を行います。
- ⑤実績確認監査等事業者が行う不正防止のためのヒアリング、監査、抜き打ち検査などに協力いたします。
- ⑥受託者は、実績確認監査等事業者との連絡窓口を設置いたします。

●相談窓口・申請案内等事業者との連携は、以下仕様書に記載の内容に従って行いました。

- ①相談窓口・申請案内等事業者が、事業の基本的内容を、消費者と飲食店に説明するために必要となる情報の提供に協力いたします。
- ②委託者の指定する事業者が、食事券発行事業者と連携した広報を実施することに協力いたします。
- ③相談窓口・申請案内等事業者との連絡窓口を設置いたします。

(実施内容)

- ・相談窓口・申請案内等事業者様から提供されたキャンペーン全体のQ & Aを、とっとりGoToEatの公式サイトに掲載しました。
- ・GoToEatの全体のホームページに掲載するために、依頼を受けて食事券の券面デザインを提供しました。
- ・相談窓口・申請案内等事業者様へ、毎週月曜日に前週までの新規登録加盟店のリストを送付し、各加盟店へ感染症対策の啓発物を送付していただきました。
- ・上記送付の際に、宛先不明で発送元に戻ってきた場合、相談窓口・申請案内等事業者様からの照会を受けて、再送用の宛先をお知らせしました。

食事券販売促進

Go To Eat食事券販売開始前には、鳥取県と、コロナ禍で苦境に立つ地元企業を応援する「美味しい 行ってみ隊」(地銀などで構成)とともに、鳥取県庁でキャンペーン推進会議を開き、機運の醸成を図りました。

農林水産省の「Go To イート」のプレミアム付き食事券発行事業の鳥取県内での効果を高めようと、同省から事業を受託した共同事業体と県や経済団体が19日、県庁でキャンペーン推進会議を開いた。食事券を利用できる加盟店の拡大や食事券の利用促進に連携して取り組むことを確認した。(真田達)

GoToイート 共同事業体など推進会議
加盟店拡大、連携を確認



平井伸治知事、新日本海新聞社とJTB、中央印刷の3社でつくる共同事業体の代表、コロナ禍で苦境に立つ地元企業を応援する「美味しい 行ってみ隊」(地銀などで構成)とともに、鳥取県庁でキャンペーン推進会議を開き、機運の醸成を図りました。

平井知事は11月6日のスワイガ二輪解禁に合わせて食事券の利用が始まることを踏まえ「県外でも購入を働き掛け、カニシズンの利用を図ってみたい」と提案し、多方面から需要を取り込む必要性を指摘した。共同事業体の代表を務める新日本海新聞社の吉岡徹社長は「コロナ禍の中で低迷する飲食業や農林水産業を支援する大事業に身の引き締まる思い、地元への恩返しとして取り組んでいく」と決意を語った。

平井知事は11月6日のスワイガ二輪解禁に合わせて食事券の利用が始まることを踏まえ「県外でも購入を働き掛け、カニシズンの利用を図ってみたい」と提案し、多方面から需要を取り込む必要性を指摘した。共同事業体の代表を務める新日本海新聞社の吉岡徹社長は「コロナ禍の中で低迷する飲食業や農林水産業を支援する大事業に身の引き締まる思い、地元への恩返しとして取り組んでいく」と決意を語った。

県内
食事券利用促進へ

2020年10月20日 日本海新聞

新型コロナ感染拡大対策

鳥取県が行う新型コロナウイルス感染症対策である「新型コロナウイルス感染予防対策協賛店」ならびに、「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」について、鳥取県と連携しながら徹底を図りました。新型コロナウイルスの感染が広がっていた2021年1月26日には、鳥取県と当事務局が合同で現地調査を実施しました。

感染対策、県など現地調査
「Go To イート」登録の5店

新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた飲食業を支援する「とっとりGo To イート」キャンペーンに登録する鳥取県内5店舗で26日、感染予防対策の実施状況を調査する現地調査が行われた。

登録店舗の感染防止対策の実態を把握し、安心して利用してもらうことが目的で、米子市角野町4丁目の和食店「海王」では、店員らがスタッフがからの聞き取りや目視で項目の感染対策をチェックした。入り口付近では検温方法やマスク着用を呼び掛ける

「Go To イート」登録の5店
内5店舗で利用でき
る。企業別失注



羽田直樹課長補佐(左)は「しっかりと対策が取れていると確認できた。マスク、アム付き食事券は現在、県

2021年1月27日 日本海新聞